

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	サビ取りジェル		
販売元	株式会社 コメリ		
住所	新潟県新潟市清水 4501-1		
電話番号	025-371-4805		
製造元	株式会社 ヴィプロス	作成者	竹谷 一浩
住所	東京都江東区亀戸 9丁目 3 7 番 1 号	緊急連絡先	本社開発部
管理者	村上 康樹	電話番号	03-3685-4351
電話番号	03-3683-8333	作成	2012年5月8日
FAX番号	03-3637-5276		
管理番号			

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

[物理化学的性質]

金属腐食性物質 区分 1

[健康に対する有害性]

急性毒性 (経口) 区分 4

急性毒性 (経皮) 区分 5

皮膚腐食性/刺激性 区分 1A

眼に対する重篤な損傷性/刺激性 区分 1

特定標的臓器毒性 (単回暴露) 区分 3 (気道刺激性)

[環境に対する健康性]

水生環境急性有害性 分類できない

水生環境慢性有害性 分類できない

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語：危険

[危険有害性情報]

金属腐食のおそれ
 飲み込むと有害
 皮膚に接触すると有害のおそれ
 重篤な葉傷・眼の損傷
 重篤な眼の損傷
 (気道刺激性)呼吸器への刺激のおそれ

注意書き：[予防]

取扱う前にすべての安全注意を読み理解する。
 最初の容器中でのみ保管する(他の容器に移し替えてはならない)。
 粉じん/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入してはならない。
 取扱い後は汚染箇所をよく洗う。
 この製品を使用するときは、飲食または喫煙をしてはならない。
 屋外または換気の良い場所でのみ使用する。
 必要な個人用保護具を使用する。
 涼しい所に置く。日光を避ける。

3. 組成及び成分情報

[単一製品・混合物の区別] 混合物

内容成分 (化学名又は慣用名)	含有量 [wt%]	化学式	既存番号 物質番号	CAS No.	PRTR法 政令番号	安衛法通知物 政令番号
①リン酸	40-43	H ₃ O ₄ P	(1)-422	7664-38-2	非該当	非該当
②界面活性剤	1-3	特定できず	(7)-97	特定できず	特定できず	特定できず
③キサントランガム	1-2	C ₃₃ H ₄₉ O ₂₉	(8)-535	11138-66-2	特定できず	特定できず
④水	50-51	H ₂ O	—	7732-18-5	特定できず	特定できず
⑤色粉	微量	特定できず	—	特定できず	特定できず	特定できず

危険有害成分

労働安全衛生法「通知すべき有害物」に該当する成分：工業用リン酸

4. 応急措置

[一般的な措置]

気分が悪い時は、医師の診断／手当てを受ける。

暴露または暴露の概念がある場合、医師の診断／手当てを受ける。

[吸入した場合]

被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。

呼吸していて嘔吐がある場合は頭を横向きにする。

体を毛布等で覆い、保温して安静に保つ。

応急処置を施した後、直ちに医師の診断を受ける。

呼吸が弱かったり止まっている場合、衣類を緩め呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行う。

鼻、喉を刺激するので、直ちに水でうがいをし、新鮮な空気を吸入する。体質によってアレルギー症状を起こす場合もあるので、その際は医師の処置を受けること。

[皮膚に付着した場合]

汚染した衣類を再使用する場合は洗濯する。汚染した靴は捨てる。再使用する場合は汚物を完全に除去する。

多量の水と石鹸でゆるやかに洗う。

直ちに医師に連絡する。

皮膚への接触を最小限とするため、付着物を広げないようにする。

[眼に入った場合]

最低15分間、清浄な水でゆるやかに眼の洗浄を行う。できるだけ速やかに医師による診断と医療処置を受ける。

コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄する。

洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。

[飲み込んだ場合]

無理に吐かせてはならない。

嘔吐物を飲み込ませてならない。

負傷者を安静にし、直ちに医師の診察を受ける。

水でよく口の中を洗浄する。

吐かせず、十分な水を与え、胃の中を希釈する。直ちに医師の診断を受ける。

[応急措置および特別処置が必要な場合]

救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

適切な換気を確保する。

[医師に対する特別注意事項]

腐食性／刺激性製品。寸秒でも早く皮膚の洗浄を始め、触れた物質を完全に洗い流す必要がある。洗浄を始めるのが遅れると障害を増大させるおそれがある。

物質へ暴露(吸入、吸飲、皮膚接触)は遅効性の影響を生ずるおそれがある。

特定の洗浄剤を用いるなどの特別処置を講ずる。

5. 火災時の措置

[適切な消火剤]

この製品自体は燃焼しない。

小炎：粉末、二酸化炭素

周辺火災の種類に応じた消火剤を用いる。

粉末消火剤、二酸化炭素、泡消火剤

【使ってはならない消火剤】	棒状放水（本品があふれ出て、生物に対する有害性や環境汚染を引き起こす可能性がある。）
【化学品から生ずる特定の危険有害性】	火災によって刺激性、有毒及び/または腐食性のガスを発生するおそれがある。
【特定の消火方法】	消火水や希釈水が汚染を引き起こすおそれがある。 周辺火災の場合、可能ならば安全な場所に移動させる。 危険でなければ火災区域から容器を移動する。 火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。
【特有の危険有害性】	火災中に刺激性、腐食性又は毒性のガスを発生する可能性がある。
【消火を行う者の保護】	有毒ガス等の接触を避けるため、消火作業の際は風土から行き、空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

【人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置】

漏洩区域は、関係者以外の立入りを禁止する。
漏洩エリア内に立入る時は、保護具を着用する。
風土から作業し、ミスト、蒸気、ガスなどを吸入しない。
密閉された場所に立入る時は、事前に換気する。
回収が終わるまで十分な換気を行う。
こぼれた場所はすべりやすいため注意する。
適切な保護衣を着用していないときは破損した容器や漏洩物には触れてはいけない。

【環境に対する予防措置】

漏洩すると下水溝を汚染するおそれがある。
漏洩した製品が河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。
床面に飛散した粉末が給水すると、床面がすべりやすくなるので注意して水洗すること。
河川、下水道、土壤に排出されないように注意する。
海上で薬剤を使用する場合は、運輸省令の規定に適合すること。

【回収、中和】

漏洩物は、ウエス、雑巾または土砂等に吸着させて、空容器に回収後、アルカリ溶液で中和した後、多量の水を用いて洗い流す。
後処理として、漏洩場所は消石灰などのアルカリ溶液で中和した後、多量の水を用いて洗い流す。

【封じ込め及び浄化の方法】

少量の場合は乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。
大量の場合は盛土で囲った流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。
危険でなければ漏れを止める。
排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
容器内に水を入れない。

【二次災害の防止策】

事故の拡大防止を図るため、必要に応じて関係機関に通報する。
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
物質損傷を防止するため流出したものを吸収する。
危険でなければ漏れを止める。
容器に水を入れない。

7. 取扱いおよび保管上の注意

- [取扱い] 有機物質からの粉塵は粉塵爆発及び気管刺激を起こす恐れがあり、充填や製造中は粉塵の発生を避けること。必要に応じて適正な換気を行い、粉塵防止装置を設ける。
床面の飛散粉末が吸水すると、床面が滑りやすくなり、転倒事故を招きます。粉末を吸い込まぬよう、目に入らぬよう、適切な保護具を着用して取扱うこと。一般的な化学品の取扱いに準ずる。
- 技術的対策：本製品を取扱う場合、必ず保護具を着用する。
ミスト、蒸気、ガスの発生を防止する。
取扱い場所に関係者以外の立入りを禁止する。
局所排気・全体換気：必要に応じて、局所排気又は全体換気を行う。
- [注意事項] 皮膚に触れないようにする。
眼に入らないようにする。
屋外での取扱いはできるだけ風土から作業する。
- [安全取扱い注意事項] すべての安全注意をよく読み理解するまで取扱わない。
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
金属、アルデヒド、シアン化物、メルカプタン、硫化物との接触禁止。
- [接触回避] 湿気、水、高温体との接触を避ける。
- [保管] 保管場所は、製品が汚染されないように清潔にする。
保管場所は、採光と換気装置を設置する。
強酸化物とは隔離しておくこと。
弱い吸湿性があるので、湿度の高い所での保管は避けること。
水漏れには十分注意して保管すること。
施錠して保管する。
換気の良いところで保管する。容器を密閉する。
混触危険物質、食料、飼料から離して保管する。
- [混触危険物質] 金属、アルカリ性物質。
- [容器包装材料] 耐腐食性/耐腐食内張りのある容器に保管する。
ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレンなど。

8. 暴露防止及び保護措置

[管理濃度と許容濃度]

内 容 成 分 (化学名又は慣用名)	管理濃度 (ppm)	許容濃度 日本産業衛生学会	許容濃度 ACGIH(TWA)
①リン酸	設定されていない	1mg/m ³	1mg/m ³
②界面活性剤	特定できず*	特定できず*	特定できず*
③キサントタンガム	設定されていない	設定されていない	設定されていない
④水	設定されていない	設定されていない	設定されていない
⑤色粉	特定できず*	特定できず*	特定できず*

- [設備対策] この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗顔器と安全シャワーを設置する。
ミスト、蒸気が発生する場合、換気装置を設置する。
- [適切な工学的管理] 適切な換気のある場所で取扱う。
手洗い/洗眼設備を設ける。
- [保護具] 呼吸器の保護具 : 呼吸器保護具（酸性ガス用防毒マスク）を着用する。

手の保護具	: 保護手袋 (ネオプレン製のもの) を着用する。
眼の保護具	: 保護眼鏡 (普通眼鏡型、側板付き眼鏡型、ゴーグル型) を着用する。
皮膚及び身体の保護具	: 長袖作業衣を着用する。 必要に応じて保護面、保護長靴を着用する。 粉塵マスク、または必要に応じて防毒マスクを着用する。
衛生対策	: この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。 取扱い後はよく手を洗う。 取扱い後は汚染箇所をよく洗う。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯する。

9. 物理的及び化学的性質

項目/成分	①リン酸	②界面活性剤	③キサンタンガム	④水	⑤色粉
外観	液体	特定できず	クリーム色の粉末	液体	特定できず
臭い	無臭	特定できず	無臭	無臭	特定できず
pH	約 1 以下 (強酸性)	特定できず	データなし	5~8	特定できず
比重 (相対密度)	1.69g/cm ³ (25°C)	特定できず	0.65g/cm ³	1.00g/cm ³	特定できず
融点	21°C	特定できず	データなし	3°C	特定できず
初留点・沸点	158°C	特定できず	データなし	100°C	特定できず
引火点	不燃性	特定できず	データなし	不燃性液体	特定できず
爆発限界	不燃性	特定できず	データなし	不燃性液体	特定できず
蒸気密度 (空気=1)	データなし	特定できず	データなし	データなし	特定できず
溶解性	水に溶けやすい (670g/100ml, 25°C)	特定できず	水に易溶 多くの有機溶剤に不溶	メタノール、エタノール、 イソプロピルアルコール に可溶	特定できず
発火点	データなし	特定できず	データなし	不燃性液体	特定できず
蒸気圧	2.2hPa (25°C)	特定できず	データなし	23hPa (20°C)	特定できず
オクタノール/ 水分配係数	log Pow=-0.77	特定できず	データなし	水のため対象外	特定できず
分解温度	300°C	特定できず	データなし	データなし	特定できず
粘度	データなし	特定できず	データなし	データなし	特定できず

10. 安定性及び反応性

[化学的安定性]	室温では安定
[危険有害反応性の可能性]	アルカリと反応する。金属を溶解する。
[避けるべき条件]	加熱・高温、金属との接触
[危険有害な分解生成物]	アゾ化合物、エポキシド多重化する化合物の影響下で激しく重合する。 燃焼すると有毒なヒューム (リン酸化合物) を生成する。 金属、アルコール、アルデヒド、シアン化物、ケトン、フェノール、エーテル硫化物、ハロゲン有機物と接触すると分解し、有毒なヒュームを生じる。

11. 有害性情報

[各成分の有害性情報]

項目	①リン酸	②界面活性剤	③キサンタンガム	④水	⑤色粉
急性毒性（経口）	区分4	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし
急性毒性（経皮）	区分5	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし
急性毒性（吸入：ガス）	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし
急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし
急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	分類できない	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし
皮膚腐食性、刺激性	区分1A	情報なし	眼、皮膚を刺激するが影響なし	データなし	情報なし
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分1	情報なし	情報なし	データなし	情報なし
呼吸器感受性	情報なし	情報なし	情報なし	データなし	情報なし
生殖細胞変異原性	データなし	情報なし	情報なし	データなし	情報なし
発がん性	情報なし	情報なし	情報なし	データなし	情報なし
生殖毒性	分類できない	情報なし	情報なし	データなし	情報なし
特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）	区分3	情報なし	情報なし	データなし	情報なし
特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）	情報なし	情報なし	情報なし	データなし	情報なし
吸引性呼吸器有害性	情報なし	情報なし	情報なし	データなし	情報なし

12. 環境影響情報

[水生環境急性有害性] 分類できない

[水生環境慢性有害性] 分類できない

[各成分の環境影響情報]

内 容 成 分 (化学名又は慣用名)	水生環境急性有害性	水生環境慢性有害性
①リン酸	分類できない	分類できない
②界面活性剤	データなし	データなし
③キサンタンガム	データなし	データなし
④水	区分外	データなし
⑤色粉	データなし	データなし

13. 廃棄上の注意

[廃棄残留物の記述とその安全な取扱いに関する情報]

(適切な処置を講じた以外は)環境への放出を避ける。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄する。

アルカリ性物質を用いて中和処理を行ったのち、適切な処理をしてから排出する。

洗浄水の排出は、凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄してから排出する。

[第2条 第5項、施行令第2条の4第2号 特別管理産業廃棄物「pH2.0以下の廃酸」]

[水質汚濁防止法]

水素イオン濃度等の項目

リン排出規制

[汚染容器包装の廃棄方法]

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

一般廃棄物と同様に地区の規制に従い焼却または廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

番号：3265

クラス：8

容器等級：III

適切な積荷名称：腐食性液体、酸性、有機物, N.O.S

[海洋汚染防止法]

有害液体物質(乙類)：工業用リン酸

[輸送の特定の安全対策及び条件]

直射日光、雨に暴露されないように運搬する。

輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。

転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。

輸送容器は衝撃を与えないように、ていねいに扱う。転倒したり、激突させたりしない。

海外輸送の場合、容器は(財)日本舶用検定協会の検査を受けた UN マーク表示容器を使用すること。

包装の水漏れ・破損に注意し、乱暴な取扱いは避けること。

15. 適用法令

[労働安全衛生法] 名称通知物/有害物(第 57 条の 2、令第 18 条の 2 別表 9)：工業用リン酸参照

[化学物質管理促進(PRTR)法] 該当しない

[消防法] 該当しない

[船舶安全法] 腐食性物

[航空法] 腐食性物質

16. その他の情報

参考文献

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 15th edit. UN

<http://europa.eu.int/eur-lex/en> (2004/73/EC)

2008 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)

2008 TLVs and BEIs. (ACGION)

<http://monographs.iarc.fr/monoeval/grlist.html>

JIS Z 7250 (2005 年) 「化学物質等安全データシート」

その他、自社独自調査による

責任の限定について

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱い対象としたものなので、特殊な取扱いの場合に用途・用法に適した安全対策を実施の上ご利用ください。